

都市再生整備計画 事後評価シート  
中心市街地地区

令和5年10月

沖縄県与那原町

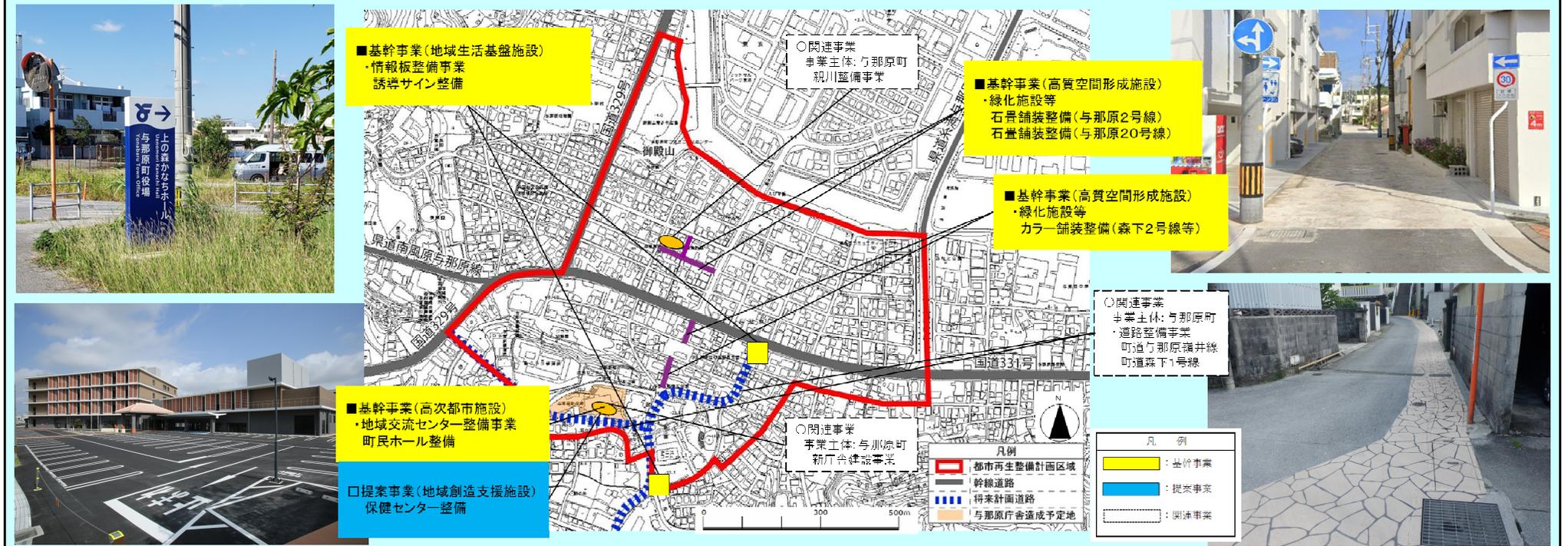
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	沖縄県	市町村名	与那原町	地区名	中心市街地地区			面積	30.5ha					
交付期間	H31～R4	事後評価実施時期	R5年度	交付対象事業費	1051.2百万円	国費率	36.80%							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業	高次都市施設(地域交流センター)、地域生活基盤施設、高質空間形成施設												
	提案事業	地域創造支援事業(保健センター)												
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画から削除した事業	基幹事業												
	新たに追加した事業	提案事業												
交付期間の変更	当初変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
	指標1	町民ホールイベント参加者数	人	14,850	H29	23,000	R4	3,550	19,951	△	ありなし	●	新型コロナの影響によりイベントの自粛や縮小のため、目標達成はなかったが、第5類に分類されたことで、イベントと規模が回復している。	令和6年度
	指標2	特定検診受診率	%	45.9	H28	56.0	R4	44.7	48.5	△	ありなし	●	受診率は達成していないが、上昇傾向にあり過去最高の数値であり、沖縄本島中南部では1位の受診率である。	令和6年度
	指標3	与那原町軽便駅舎資料館の来場者数	人	7,730	H29	8,000	R4	5,213	6,993	△	ありなし	●	新型コロナの影響により来場者数が大幅に減った。目標達成はなかったが、第5類に分類されたことで、来場者数が回復している。	令和6年度
	指標4										ありなし			
指標5										ありなし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング	担当課への問合せによるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	上昇傾向にあるため、令和5年度以降は回復見込みである。						
	官民連携による取組	未実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					特になし						
	持続的なまちづくり体制の構築	未実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					特になし						

## 様式2-2 地区の概要

### 中心市街地地区(沖縄県与那原町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 公共施設再編を契機とした賑わい溢れる交流拠点の形成と活力あるまちづくり 小目標1: 行政機能の充実による住民交流の場の創出 小目標2: 歴史と文化を活用したまちづくりの推進	町民ホールイベント参加者数	単位: 人	14,850 R29	23,000 R4	19,951 R4
	特定検診受診率	単位: %	45.9 H28	56.0 R4	48.5 R4
	与那原町軽便駅舎資料館の来場者数	単位: 人	7,730 H29	8,000 R4	6,993 R4
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R



まちの課題の変化 高質空間形成施設として実施した「石畳舗装工事」と関連事業として実施した「親川整備事業」が連動し、文化財施設の整備と一体となった空間形成を図る道路修景を推進したことで、地域住民の憩いの場とそれとふさわしい空間形成により子供たちや地域住民の交流の場となった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) 町民ホールを整備したことで、町民が集い賑わい活力あるまちづくりを持続していくため、その周辺の道路環境や交通環境の向上を目指していく。また、観光部局や生涯学習部局など関係部局とも連携し、町民ホール～与那原町軽便駅舎資料館～親川広場というルートが今後定着するようにイベントやまち歩き事業などの取り組みを推進を検討していく。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)
- 添付様式7 事後評価原案の公表

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	中心市街地地区内	5.5	誘導サイン整備						●
高質空間形成施設	町道与那原2号線、20号線 町道森下2号線等	32.1	石畳舗装整備 カラー舗装整備	48.0	石畳舗装整備 カラー舗装整備	事業費の増額			●
高次都市施設	与那原町字上与那原16番地	688.0	町民ホール整備	753.6	町民ホール整備	事業費の増額			●
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業								
事業 事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業								
バリアフリー環境整備事業								
優良建築物等整備事業								
住宅市街地総合整備事業								
街なみ環境整備事業								
住宅地区改良事業等								
都心共同住宅供給事業								
公営住宅等整備								
都市再生住宅等整備								
防災街区整備事業								

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	保健センター整備	378.2	保健センター整備	415.0	保健センター整備	事業費の増額		●	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
新庁舎建設事業		与那原町字上与那原16番地	2,066	2,456	H31～H32	R1～R2	令和2年度に竣工し、隣接する町民ホール(高次都市施設)と一体的に活用されて、賑わい拠点となっている。	
親川整備事業		中心市街地地区内(親川周辺)	390	390	H30～H33	H30～R3	令和3年度に竣工し、石畳舗装した町道(高質空間形成施設)と一体的な空間形成を創出し、賑わい拠点となっている。	
道路整備事業		町道与那原嶺井線 町道森下1号線	2,226	2,226	H33～H37 H38～H42	R3～R7 R8～R12	他路線の状況により未実施である。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		目標年度		モニタリング	評価	数値	モニタリング	評価	あり	なし	
指標1	町民ホールイベント参加者数	人	令和5年3月時点において担当課へ問合せを行い、町民ホールの利用申請書より集計し算出。	11,500	H27	14,850	H29	23,000	R4	モニタリング	R3	3,550	モニタリング	△	●	
										事後評価	確定見込み ●	19,951	事後評価	△		
指標2	特定検診受診率	%	令和5年3月時点において担当課へ問合せを行い、受診率集計表より算出。	44.7	H27	45.9	H28	56.0	R4	モニタリング	R3	44.7	モニタリング	△	●	
										事後評価	確定見込み ●	48.5	事後評価	△		
指標3	与那原町軽便駅舎資料館の来場者数	人	令和5年3月時点において担当課へ問合せを行い、入館者リスト集計表より算出。	7,907	H28	7,730	H29	8,000	R4	モニタリング	R3	5,213	モニタリング	△	●	
										事後評価	確定見込み ●	6,993	事後評価	△		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	目標値に届かなかった要因としては、新型コロナウイルスの影響により、イベントの自粛や規模縮小によるものと考えられる。令和5年度以降は新型コロナウイルスの影響が落ち着くと想定されるため、利用者数の増加が見込まれる。	
指標2	令和4年度では、48.5%という数値となっており、過去最高の数値となっている。沖縄県内において離島を除く本島内では5番目に高い数値となっており、中南部では1番高い数値である。	保健センターの整備により、会場が広くトイレも利用しやすくなったことと、空調なども整備され、また、駐車場も広くなり、段差もなく受診会場に来られることが受診率向上の要因と考えられる。ただし、受診率は緩やかな上昇となる見込み。
指標3	令和元年度には目標値の8,000人は超えたものの、令和2年度には新型コロナウイルスの影響を受け、入館者数が落ち込んだが、令和3年度後半ごろから徐々に入館者が戻りつつある。令和4年度は新型コロナウイルスの影響も比較的落ち着いたこともあり、回復しつつある。令和5年度以降は、入館者も回復の兆しもあり、新型コロナウイルスの影響が落ち着くと想定されるため、入館者数の増加が見込まれる。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
担当課への問合せによるモニタリング	予定どおり実施した	● 実施頻度：1回 実施時期：令和4年3月 実施結果：担当課へ問合せ、毎年度集計しているデータを確認。新型コロナの影響により従前地より低い結果であった。	上昇傾向にあるため、令和5年度以降は回復見込みである。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

### (3) 効果発現要因の整理

#### 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
与那原町開発プロジェクトチーム	副町長、関係所管課の課長及び補佐級の職員 (総務課、財政課、企画政策課、まちづくり課、上下水道課、公共施設課)	令和5年9月	企画政策課

#### 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標3		指標〇		指標〇	
指標名		町民ホールイベント参加者数		与那原町軽便駅舎資料館の来場者数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	地域生活基盤施設: 中心市街地地区内	○	新型コロナウイルスの影響により目標値には届かなかったものの、町民ホールの整備により、確実に町民の利用は向上している。交流拠点の場として寄与していると認められる。	-	新型コロナウイルスの影響を受け、入館者数が落ち込んだが、令和3年度には高質空間形成施設(町道森下2号線)の整備も完了し、令和4年度は新型コロナウイルスの影響も比較的落ち着いたこともあり、回復しつつある。令和5年度以降は、高質空間形成施設(町道2号線)の整備も完了し、親川整備事業との連動が見込まれ、入館者も回復の兆しもあり、新型コロナウイルスの影響が落ち着くと想定されるため、入館者数の増加が想定される。				
	高質空間形成施設: 町道与那原2号線、20号線	-		○					
	高質空間形成施設: 町道森下2号線等	-		◎					
高次都市施設: 与那原町字上与那原16番地	◎	○							
提案事業	地域創造支援事業: 与那原町字上与那原16番地	-		-					
関連事業	新庁舎建設事業: 与那原町字上与那原16番地	○		○					
	親川整備事業: 中心市街地地区内(親川周辺)	-		○					
	道路整備事業: 町道与那原嶺井線、町道森下1号線	-		-					

※指標改善への貢献度

◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。

○: 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。

△: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。

-: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確

なので、評価できない。

今後の活用	今後も、町民の交流拠点施設としての促進を図る。	駅舎資料館と親川広場とを結び回遊性を向上させ、来訪者増加による相乗効果を図る。		
-------	-------------------------	---	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2			指標〇			指標〇			指標〇			
指標名		特定検診受診率												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	地域生活基盤施設: 中心市街地地区内	-	新型コロナウイルスの影響もあり、目標値には届かなかったものの、令和4年度では、48.5%という数値となっており、過去最高の数値となっている。沖縄県内において離島を除く本島内では5番目に高い数値となっており、中南部では1番高い数値である。保健センター整備により、利用にあたって利便性向上が要因の1つと考えられる。	Ⅲ										
	高質空間形成施設: 町道与那原2号線、20号線	-												
	高質空間形成施設: 町道森下2号線等	-												
	高次都市施設: 与那原町字上与那原16番地	△												
提案事業	地域創造支援事業: 与那原町字上与那原16番地	△												
関連事業	新庁舎建設事業: 与那原町字上与那原16番地	△												
	親川整備事業: 中心市街地地区内(親川周辺)	-												
	道路整備事業: 町道与那原嶺井線、町道森下1号線	-												

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	特定検診のみならず、乳幼児健診や保健指導等様々な保健行政関連の利用も促進を図る。				
------------------	--	--	--	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
与那原町開発プロジェクトチーム	副町長、関係所管課の課長及び補佐級の職員(総務課、財政課、企画政策課、まちづくり課、上下水道課、公共施設課)	令和5年9月	企画政策課

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
各種町内団体の活動拠点及びイベント等を開催するなどの役割を担った地域交流施設がなく、イベント等の開催に制限がある。	町民対象のイベントを中心として様々な行事活動等が行うことができ、地域住民の交流拠点施設として整備することができた。		
特定健診や乳幼児健診等の保健事業を実施する際に利用できる施設が不足している状況であり、円滑に事業が行えていない。	新庁舎整備事業と併せて複合施設として町民ホールと併せて保健センターを整備したことで、広い駐車場の確保や容易に受診できる施設環境を整えることができた。		
親川広場等の文化財施設においては歴史文化の学習の場とし、施設整備の計画を進めており、施設と一体となった空間形成を図るため、周辺道路の修景整備が必要である。	親川広場の整備と併せて道路を石畳舗装に整備したことで、文化財施設と一体となった良好な修景施設を創出することができた。		
軽便駅舎資料館は、歴史と平和のシンボルとして平和記念行事等で活用中であるが、立地状況から施設へのアクセスが悪いため、カラー舗装整備し円滑に来場者を施設へ誘導する必要がある。	軽便駅舎資料館の近くにある、上の森公園駐車場からのアクセス向上が図られた。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	整備した施設の利活用促進・維持管理	整備した施設について、地域住民等の利活用を推進する取組を行うとともに、利用しやすい環境、サービス提供に向けた維持管理を行う。	・整備した道路の適切な維持管理 ・町民ホール、親川広場、軽便駅舎資料館の利用促進・維持管理
	地域住民と来訪者等の交流促進	町民ホール、駅舎資料館及び親川広場の3拠点とを結び回遊性を向上させ、来訪者増加による相乗効果を図る。	・地域の交流イベント等の実施支援

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	特定検診受診率等の保健行政の向上	町民ホールと併せて保健センターを活用することで、より良い受診環境の向上を図る。	・保健センターの利用促進・維持管理 ・特定検診等の啓発活動
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

**添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画**

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	町民ホールイベント参加者数	人	14,850	H29	23,000	R4	確定 ●	19,951	△	あり ●	令和6年4月	担当課へ問合せし、利用申請集計により算出する。	
指標2	特定検診受診率	%	45.9	H28	56.0	R4	確定 ●	48.5	△	あり ●	令和6年11月	担当課へ問合せし、特定検診受診集計により算出する。	
指標3	与那原町軽便駅舎資料館の来場者数	人	7,730	H29	8,000	R4	確定 ●	6,993	△	あり ●	令和6年4月	担当課へ問合せし、入館者数集計により算出する。	
指標4				H		H	確定			あり			
指標5				H		H	確定			あり			
その他の数値指標1				H			確定						
その他の数値指標2				H			確定						
その他の数値指標3				H			確定						

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	適切な指標を設定することで、達成度合の判断することがスムーズであった。	外的要因が大きく左右されない定量的な指標設定をなるべく検討する。
	うまく いかなかった点	新型コロナの影響が大きく、目標設定の達成状況に対して想定外であった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	現状の課題に対する解決するための目標とその事業がうまく連動できた。	
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	地元の自治会長評議員会とうまく調整することができ、事業がスムーズに実施できた。	事業進捗に影響がでないよう前もって地元関係者と相談・調整を綿密に行う。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	設定指標が担当課で毎年度集計している数値であったため、モニタリングを容易に行うことができた。	外的要因が大きく左右されない定量的な指標設定をなるべく検討する。
	うまく いかなかった点	新型コロナの影響により、外的要因が大きくPDCAサイクルの効果がうまくいかなかった。	
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	与那原町のホームページに公開	令和5年10月13日～10月27日	令和5年10月13日～10月27日	まちづくり課へ 直接持参、FAX、郵送	まちづくり課 (都市再生整備計画事業担当課)
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

# 都市再生整備計画

ちゅうしんしがいちちく  
中心市街地地区

おきなわけん よなばるちょう  
沖縄県 与那原町

令和4年9月(第3回変更)

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	沖縄県	市町村名	よなばるちよう 与那原町	地区名	ちゅうしんしがいちちく 中心市街地地区	面積	30.5 ha
計画期間	令和 1 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	令和 1 年度 ~ 令和 4 年度				

目標

**大目標：公共施設再編を契機とした賑わい溢れる交流拠点の形成と活力あるまちづくり**

小目標1：行政機能の充実による住民交流の場の創出  
小目標2：歴史と文化を活用したまちづくりの推進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本町は沖縄本島東海岸南部に位置し、本島内で最も面積が小さく(5.18km<sup>2</sup>)、人口密度(3,554.1人/km<sup>2</sup>)が高いコンパクトなまちである。
- さらに、県都那覇市から9km離れた地点にあり、町中心部では国道329号と国道331号が交差しており、中南部地域への交通利便性が高いまちでもある。
- 本町東海岸においては、平成5年～平成23年にかけて埋立事業(中城湾港マリンタウンプロジェクト)が進められ、新たな市街地が形成された。
- 新市街地の整備と交通利便性の高さから、H27国勢調査においては人口増加率県内1位となっており(増加率12.8%)、現在も人口は増え続け、令和2年8月末時点では20,059人である。(H22国勢調査人口：16,318人、H27国勢調査人口：18,410人)
- 本地区は与那原町の中心部に位置し、国道329号、国道331号に囲まれた面積約30.5haの地区である。
- かつては町内でもっとも賑わいのある市街地であったが、近年は埋立事業に伴う新市街地の急速な発展により、本地区の活性化とその賑わいの継続性が失われつつある。
- 本地区の南側においては本町の中心施設である与那原町庁舎等の公共施設が立地しているが、老朽化が著しいために早急な建替えを計画しており、その周辺道路の整備計画も進めているところである。
- 本地区の中心部において、町都市計画マスタープランの基本方針である「既存市街地と新市街地が調和したまちづくり」に基づき、歴史・文化等の資源を活かした旧市街地のまちづくりを進めている。

課題

- 町庁舎は、町民共有の財産として町民に親しまれ、町の活性化と発展に寄与するため積極的に活用される良質さを備えた施設であるべきだが、築40年以上が経過しているため建物や設備等の老朽化が進み、庁舎本来のすがたを失いつつある。
- 本町では、各種町内団体の活動拠点及びイベント等を開催するなどの役割を担った地域交流施設がなく、既存の公共施設の一部を借用し実施している状況であるため、イベント等の開催に制限がある。
- また、特定健診や乳幼児健診等の保健事業を実施する際に利用できる施設が不足している状況であり、既存の公共施設利用に制限があることから円滑に事業が行えていない。
- 町庁舎を町民ホールや保健センターと一体的に整備し、既存施設である社会福祉センターの全機能を町民ホールへ移行することで、行政機能の充実や地域コミュニティの充実など多様な交流を生み出し、新たな交流拠点として地区内の活性化を図る必要がある。
- 町庁舎周辺の道路は道幅幅員が狭いにもかかわらず、交通量の多い国道329号や331号の「抜け道」として利用されていることから、地区内歩行者の安全・安心確保のためにも道路整備が必要である。
- 本町の親川(エーガー)広場等の文化財施設においては歴史文化の学習の場とし、施設整備の計画を進めており、施設と一体となった空間形成を図るため、周辺道路の修景整備が必要である。
- 軽便駅舎資料館は、歴史と平和のシンボルとして平成27年に復元し、平和記念行事等で活用中であるが、立地状況から施設へのアクセスが悪いため、カラー舗装整備し円滑に来場者を施設へ誘導する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- 第四次与那原町総合計画(平成23年度策定/平成29年9月一部改訂)及び「与那原町都市計画マスタープラン(平成25年9月策定/平成30年6月一部改訂)」では、「太陽とみどり、伝統とやさしさを未来へつなぐ海辺のまち」をまちの将来像とし、「みんなで創るこころ豊かなまち」、「ゆとりと潤いのあるまち」をまちの目標としている。
- また、「与那原町都市計画マスタープラン(平成25年9月策定/平成30年6月一部改訂)」では、「交通の要衝としての立地を活かしたまちづくり」、「既存市街地と新市街地が調和したまちづくり」、「地域の産業を支え、創出するまちづくり」、「社会情勢に対応したまちづくり」をまちづくりの基本方針としている。
- 本町の歴史的資源や行政・文化・商業・観光などの都市機能の集積を活かしながら、中心市街地と一体的に公共公益施設の計画的・重点的に整備を行い、賑わいと活力のある中心市街地地区の実現と豊かなまちの創出を図ることとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
町民ホールイベント参加者数	人	町民ホールで開催されるイベントへの参加者数	町民ホール新規整備による利便性向上や地域活動の活性化を評価	14,850	H29	23,000	R4
特定健診受診率	%	特定健診を受診する町民の割合	保健センターの新規整備(バリアフリー化、機能充実等)により公共施設の利便性を評価	45.9	H28	56.0	R4
与那原町軽便駅舎資料館の来場者数	人	与那原町軽便駅舎資料館の年間来場者数	与那原町軽便駅舎資料館の活用実績を評価	7,730	H29	8,000	R4

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1&lt;行政機能の充実による住民交流の場の創出&gt;</b>                      老朽化した庁舎の建て替えに伴い、町民ホール及び保健センターを一体的に整備することで行政機能の充実や住民交流の場の創出を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内各種団体の活動拠点及びイベント開催の場となる町民交流場の整備</li> <li>・乳幼児から高齢者まで生涯を通じた健康づくりの拠点となる保健センターの整備</li> <li>・公的施設への円滑な誘導を促進するサイン整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高次都市施設 町民ホール整備(基幹事業)</li> <li>・地域創造支援事業 保健センター整備(提案事業)</li> <li>・地域生活基盤施設 誘導サイン整備(基幹事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針2&lt;歴史と文化を活用したまちづくりの推進&gt;</b>                      文化財や歴史的資源を周辺と一体的に整備することで、歴史と文化を活用したまちづくりを推進し、賑わいが溢れ、活力のある中心市街地の形成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財施設の整備と一体となった空間形成を図る道路修景</li> <li>・歴史的施設への円滑な誘導を促す道路カラー舗装整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高質空間形成施設 石畳舗装整備(基幹事業)</li> <li>・高質空間形成施設 カラー舗装整備(基幹事業)</li> </ul>
<p>その他</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市再生整備計画事業)

交付対象事業費	1,222.1	交付限度額	448.3	国費率	0.367
---------	---------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路															
道路															
道路															
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		中心市街地地区内(誘導サイン整備)	与那原町	直	2基	R3	R3	R3	R3	5.5	5.5	5.5	0.0	5.5	-
高質空間形成施設		与那原2号線、20号線(石畳舗装整備)	与那原町	直	145m	R3	R4	R3	R4	47.0	47.0	47.0	0.0	47.0	-
高次都市施設		森下2号線等(カラー舗装整備)	与那原町	直	80m	R3	R3	R3	R3	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	-
地域交流センター		宇上与那原16番地(町民ホール整備)	与那原町	直	1,192.56㎡	R1	R2	R1	R2	753.6	753.6	753.6	0.0	753.6	-
観光交流センター															
まちおこしセンター															
子育て世代活動支援センター															
複合交通センター															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										807.1	807.1	807.1	0.0	807.1	-

統合したB/Cを記入してください

…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業	保健センター整備	宇上与那原16番地	与那原町	直	657.98㎡	R1	R2	R1	R2	415.0	415.0	415.0	0.0	415.0	
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										415.0	415.0	415.0	0.0	415.0	
													合計(A+B)	1222.1	

…B

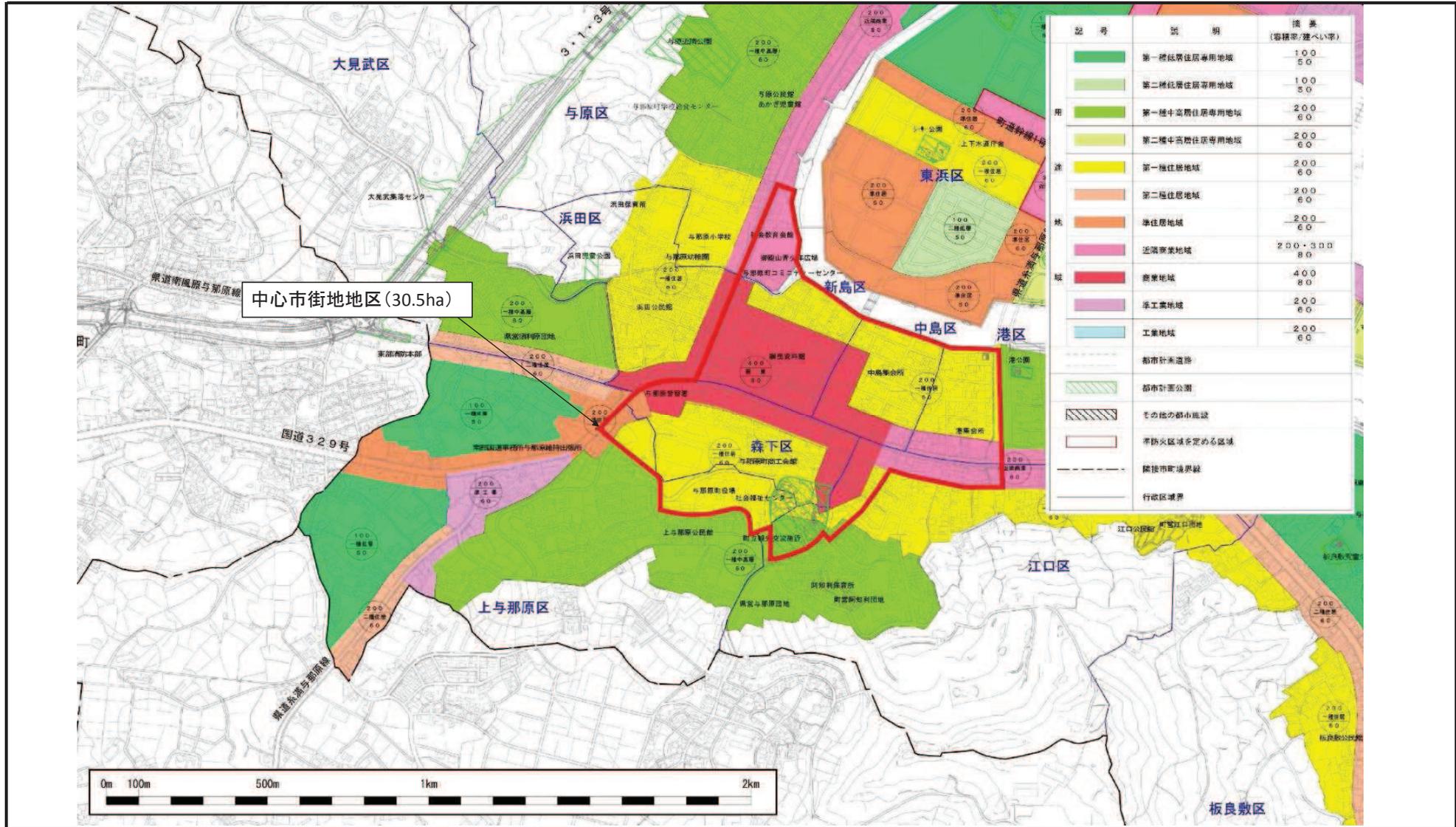
(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
合計											0

(参考)関連事業

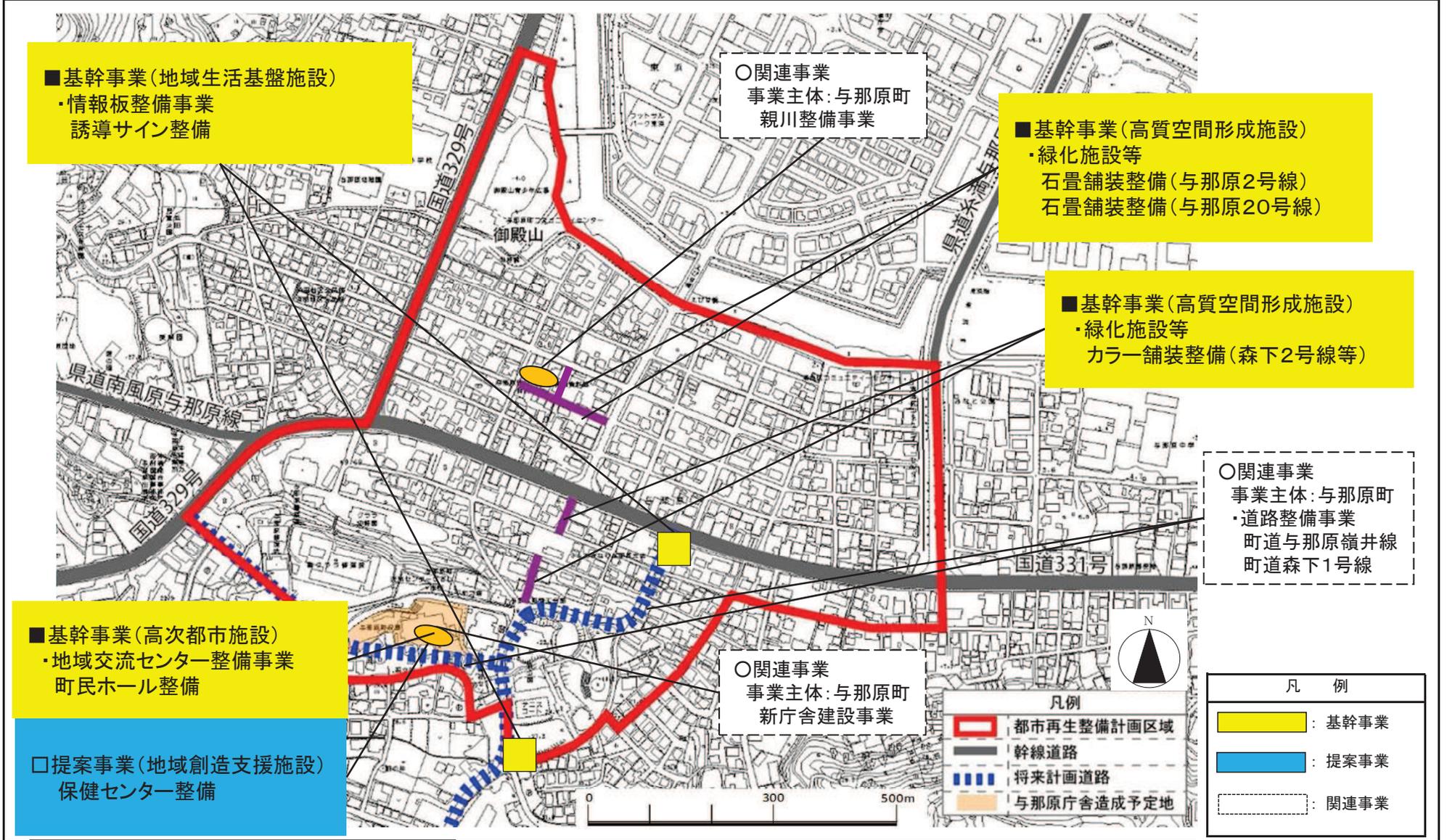
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
新庁舎建設事業	宇上与那原16番地	与那原町	総務省	6111.73㎡		○			R1	R2	2,455.5
道路整備事業	町道与那原嶺井線	与那原町	国土交通省	480m		○			R3	R7	1,183.7
親川整備事業	中心市街地地区内(親川周辺)	与那原町	国土交通省	500m		○			R8	R42	1,042.2
合計			文部科学省	1,600㎡		○			H30	R3	390.0
											5,071.4

<p>中心市街地地区(沖縄県与那原町)</p>	<p>面積 30.5 ha</p>	<p>区域 新島区、中島区、森下区、 上与那原地区の一部、江口区の一部、港区の一部、与那原区の一部</p>
-------------------------	-------------------	---



ちゅうしんしがいちちく おきなわけんよなぼるちよう  
**中心市街地地区(沖縄県与那原町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)**

目標	大目標: 公共施設再編を契機とした賑わい溢れる交流拠点の形成と活力あるまちづくり	代表的な指標	町民ホールイベント参加者数 (人/年)	14,850人 (H29年度)	→	23,000人 (R4年度)
	小目標1: 行政機能の充実による住民交流の場の創出		特定検診受診率 (%/年)	45.90% (H28年度)	→	56.00% (R4年度)
	小目標2: 歴史と文化を活用したまちづくりの推進		軽便鉄道駅舎資料館来場者数 (人/年)	7,730人 (H29年度)	→	8,000人 (R4年度)



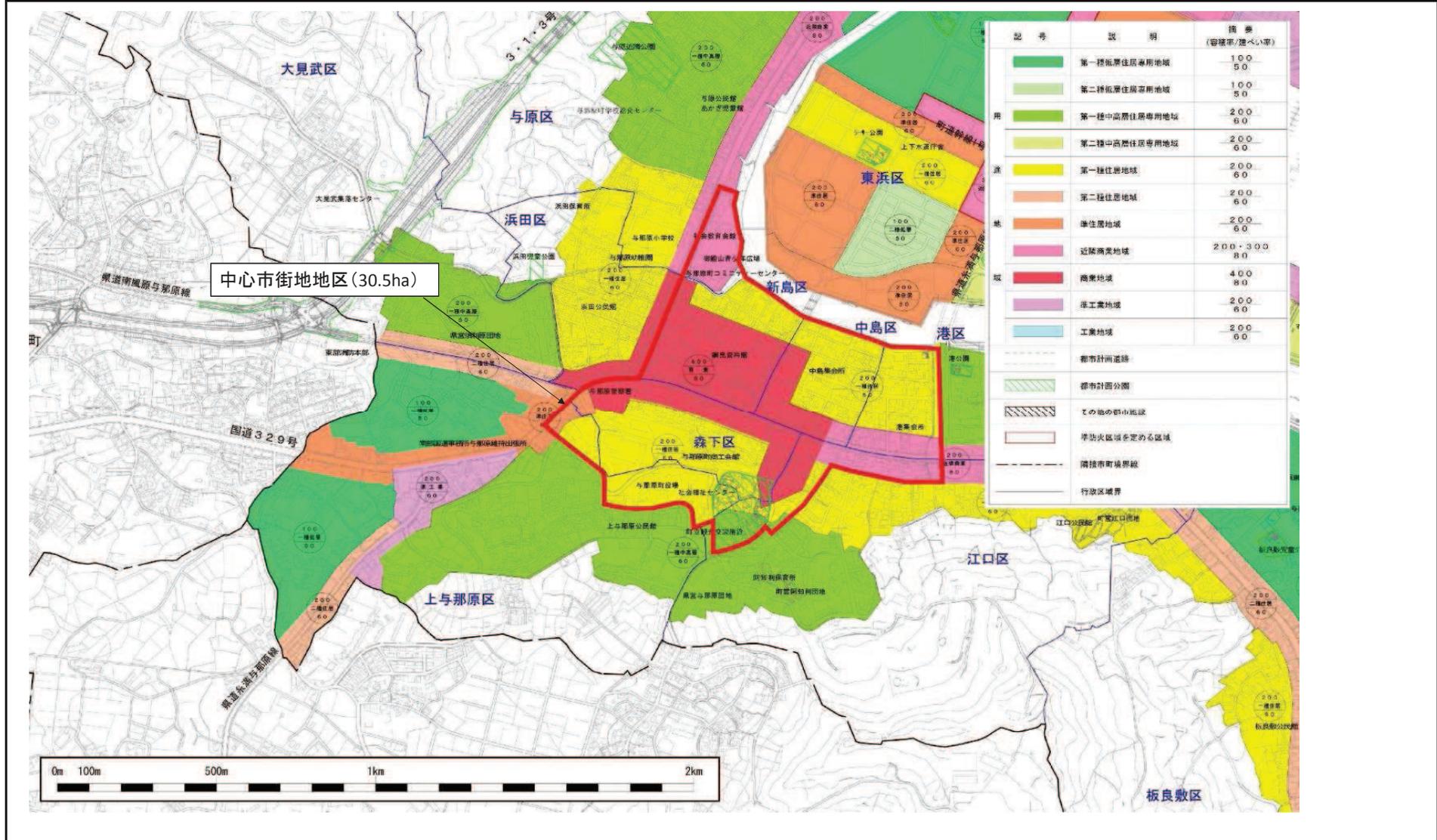
# 都市再生整備計画の添付書類等

## 交付対象事業別概要

ちゅうしん しがいち ちく おきなわけん よなばるちょう  
中心市街地地区 (沖縄県与那原町)

令和4年9月(第3回変更)

中心市街地地区(沖縄県与那原町) 現況図



交付限度額算定表(その1)

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	448.3 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	12,922.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	448.3 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	--------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

公共施設の上限整備水準			137,250
区域面積 (㎡)			305,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

単位面積あたりの標準的な用地費		598,351
標準地点数		1
公示価格の平均値(円/㎡)		84,200
単位面積あたりの標準的な補償費		
当該区域内の戸数密度(戸/㎡)		0.003
標準補償費(円/戸)		44,000,000

	23,000
--	--------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設			0
施設名(事業名)	面積(㎡)	国庫補助事業費等(百万円)	
合計	0	0	

公共施設の現況整備水準			97037
整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定			
推定現況整備水準(小数第2位まで)			0.34
推定公共施設面積(㎡)			103700
○ 個別公共施設の積み上げ			
	面積(㎡)	割合	
道路	62,960	0.21	
公園	16,800	0.06	
広場	9,269	0.03	
緑地	8,008	0.03	
公共施設合計	97,037	0.32	

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	12493 百万円
----------------------	-----------

下水道		859,020,668
区域面積(㎡)		305,000
うち現況の供用済み区域面積(㎡)		
標準整備費(円/㎡)		3,600

○ 地域交流センター等の公益施設(建築物)	859,020,668 円
上限床面積(㎡)	1,851
標準整備費(円/㎡)	464,200

調整池	0 円
調整池の容積(㎡)	
標準整備費(円/㎡)	140,000

河川	0 円
河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設			0 円
建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計		0
標準整備費(円/戸)		超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物		0 円
施設建築物の延べ面積(㎡)		
標準共同施設整備費(円/㎡)		132,000

電線共同溝等		0 円
電線共同溝等延長(m)		
標準整備費(円/m)		680,000

人工地盤		0 円
人工地盤の延べ面積(㎡)		
標準整備費(円/㎡)		5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等			0 円
大規模構造物等	協議状況	整備費(円)	

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	12922 百万円
---------------------	-----------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集集中支援事業>	交付限度額(X1)	百万円
-----------------	-----------	-----

<都市再生整備計画事業>	交付限度額(X2)	448.3 百万円
--------------	-----------	-----------

<まちなかウォークアブル推進事業>	交付限度額(X3)	百万円
-------------------	-----------	-----

交付限度額算定表(その2)(都市再生整備計画事業)

中心市街地地区 (沖縄県与那原町)

様式(2)-④-2

社会資本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	807.100	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	488.840	① (国費)
	提案事業合計(B)	415.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	448.389	② (国費)
	合計(A+B)	1,222.100	(事業費)	上記①、②の小さい方	448.389	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.340		国費率(③÷(A+B))	0.367	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	③)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		③)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	448.389	⑥ (国費)
・4)式の適用[都市再生緊急整備地域等の45%拡充]		(選択)		③)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.367	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	448.389	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	448.389	⑨ (国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	448.389	⑩ (国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.367	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.367	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)		適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	448.389	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	1,222.1	(事業費)	⇒	社会資本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	448.3	⑰ (国費)
				国費率	0.367	⑱ (国費率)

年次計画(都市再生整備計画事業)

様式(2)-⑤-2  
(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
細項目									
道路									
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		中心市街地地区内(誘導サイン整備)	与那原町	5.5	0.0	0.0	5.5	0.0	
高質空間形成施設		与那原2号線、20号線(石畳舗装整備)	与那原町	47.0	0.0	0.0	4.0	43.0	
		森下2号線等(カラ―舗装整備)	与那原町	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	
高次都市施設	地域交流センター	字上与那原16番地(町民ホール整備)	与那原町	753.6	354.3	399.3	0.0	0.0	
	観光交流センター								
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
既存建造物活用品業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				807.1	354.3	399.3	10.5	43.0	0.0

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
細項目									
地域創造 支援事業	保健センター整備	字上与那原16番地	与那原町	415.0	194.7	220.3	0.0	0.0	0.0
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業									
計				415.0	194.7	220.3	0.0	0.0	0.0
合計				1222.1	549.0	619.6	10.5	43.0	0.0
累計進捗率 (%)					44.9%	95.6%	96.5%	100.0%	100.0%

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

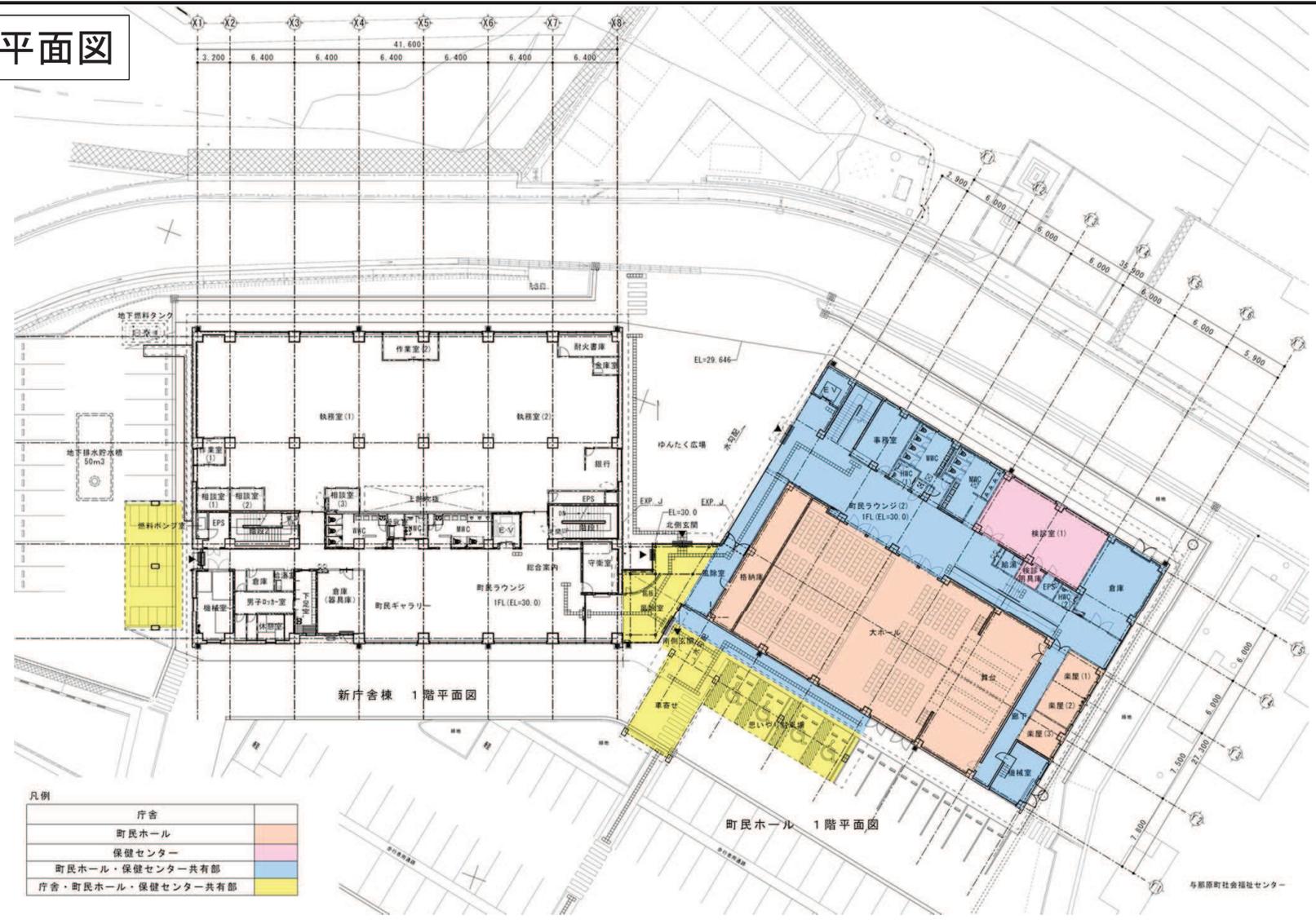
(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!



地域創造支援事業:保健センター整備

全体平面図

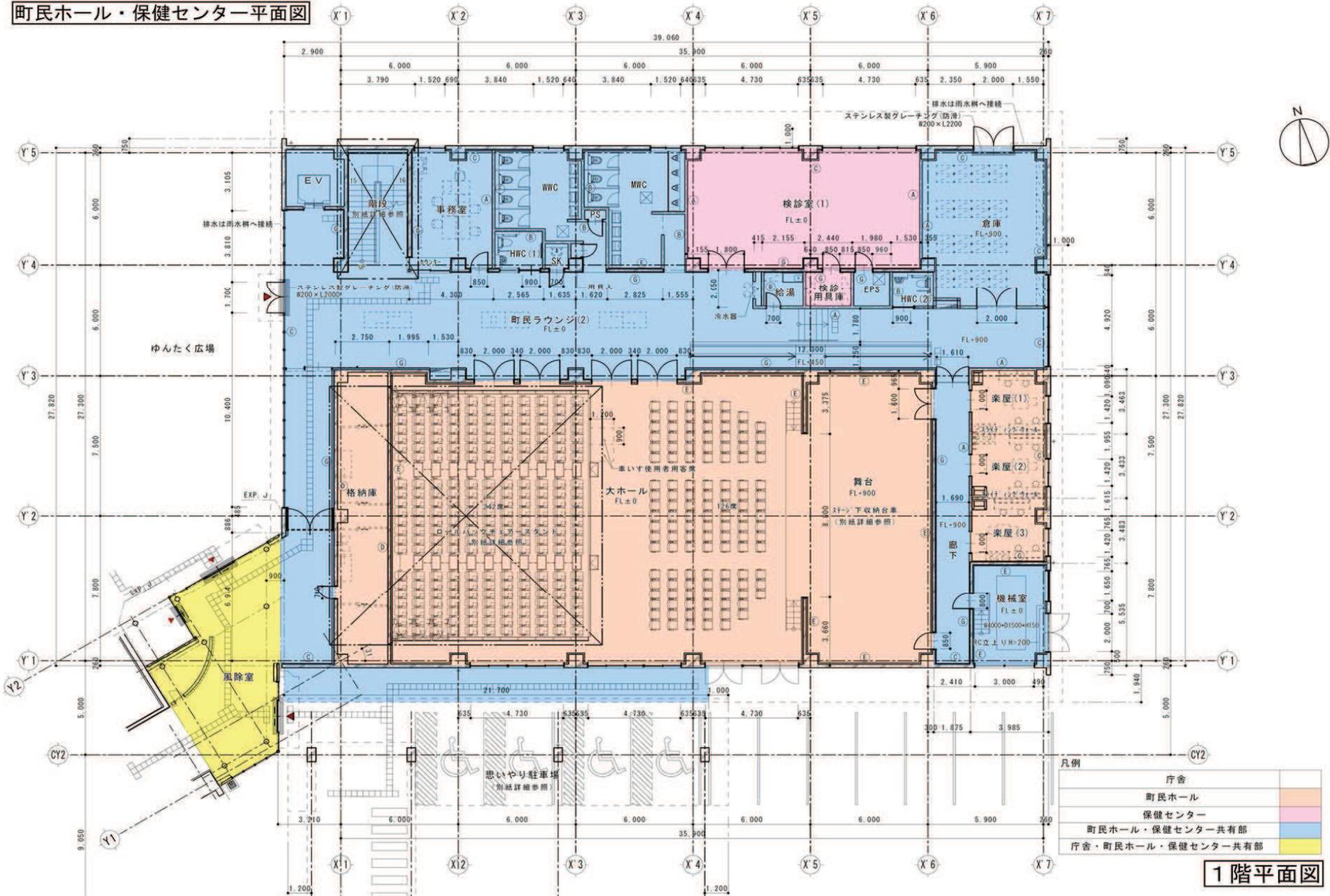


凡例

庁舎	
町民ホール	
保健センター	
町民ホール・保健センター共有部	
庁舎・町民ホール・保健センター共有部	

与那原町社会福祉センター

町民ホール・保健センター平面図

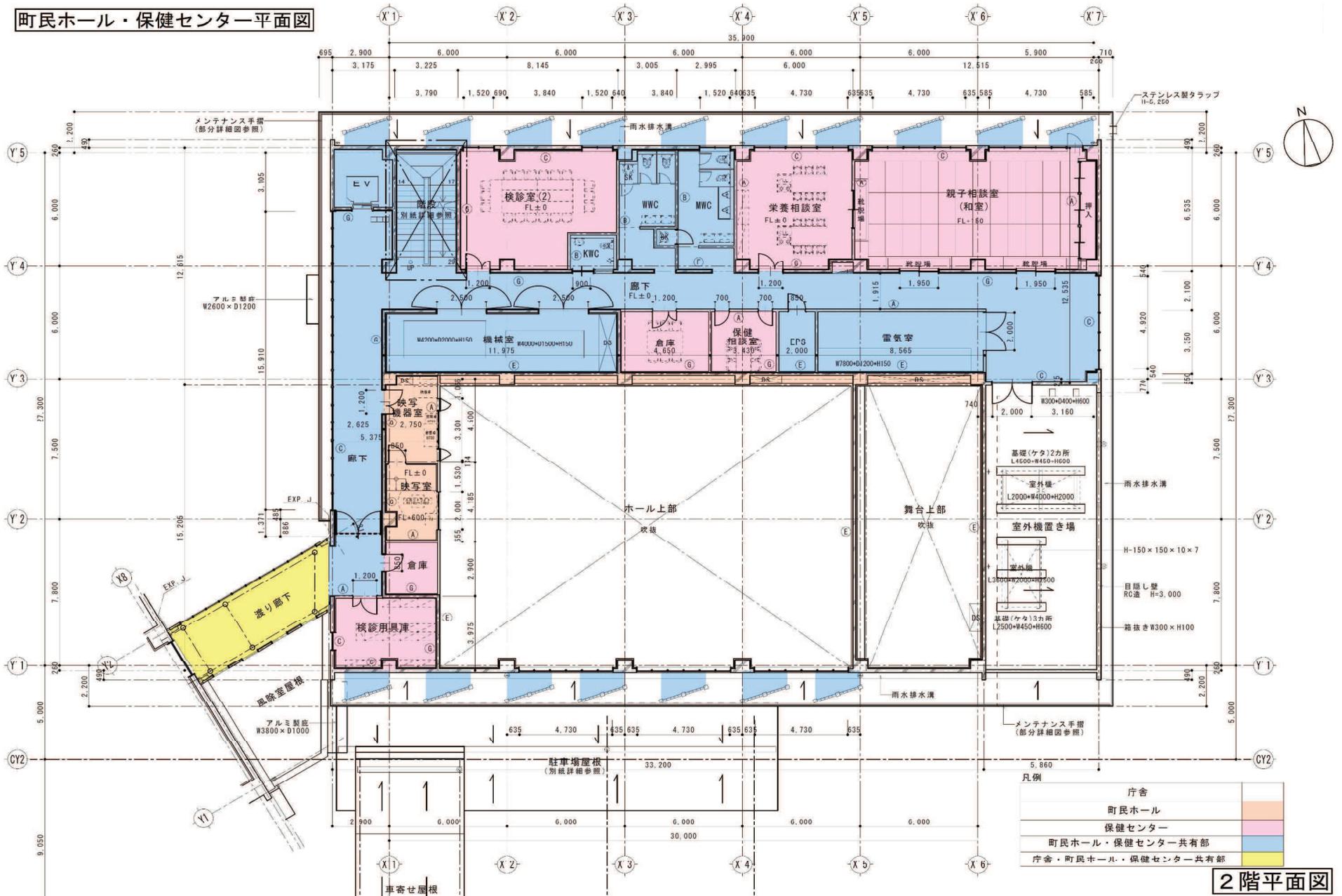


凡例

庁舎	
町民ホール	
保健センター	
町民ホール・保健センター共有部	
庁舎・町民ホール・保健センター共有部	

1階平面図

町民ホール・保健センター平面図



2階平面図



### 面積表：凡例

階	庁舎棟	町民ホール棟	渡り廊下	駐車場	駐輪場	屋外倉庫	受水槽ポンプ室	合計
R階	25.32							25.32
4階	1,327.77							1,327.77
3階	1,369.07	58.16						1,427.23
2階	1,369.68	622.95	28.09					2,020.72
1階	1,305.52	1,130.08	57.10	147.93	70.90	40.00	6.00	2,757.53
地下1階	403.70							403.70
小計	5,801.06	1,811.19	85.19	147.93	70.90	40.00	6.00	7,962.27

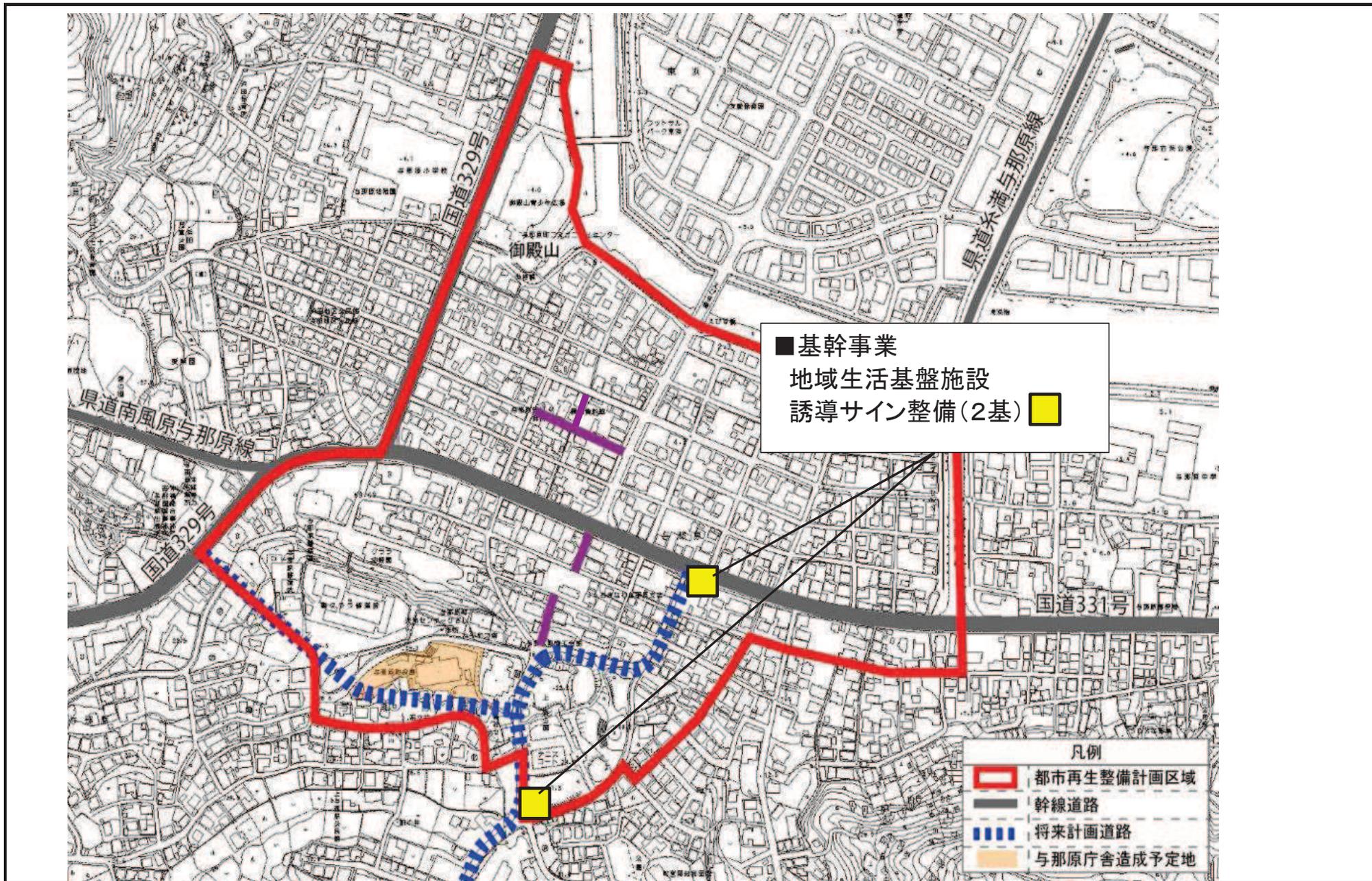
階	関連事業	まち交共用部分	基幹事業	提案事業	全体共用部分	合計
R階	25.32					25.32
4階	1,327.77					1,327.77
3階	1,369.07	58.16				1,427.23
2階	1,369.68	355.09	42.17	225.69	28.09	2,020.72
1階	1,351.52	528.58	518.08	83.42	275.93	2,757.53
地下1階	403.70					403.70
小計	5,847.06	941.83	560.25	309.11	304.02	7,962.27

# 地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考	
					設計費	用地費	施設整備費 うち購入費		
緑地							—		
広場							—		
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地							—		
情報板	誘導サイン整備	与那原町	計画区域全域	5.5			5.5	—	誘導サイン:2基
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤							—		
合計	—	—	—	5.5	0.0	0.0	5.5		

# 地域生活基盤施設:誘導サイン整備

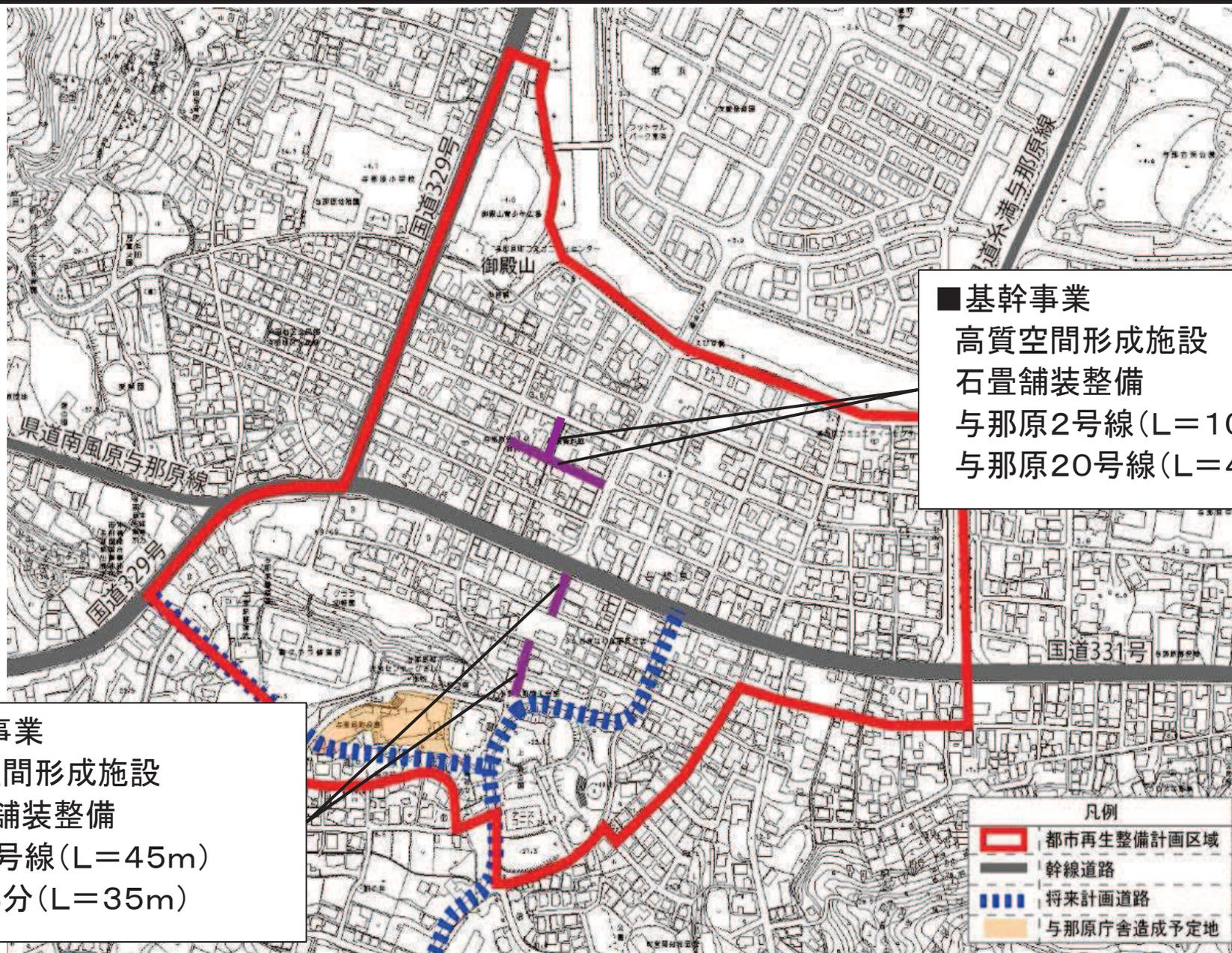


# 高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	石畳舗装整備	与那原町	距離 145m	47.0	4.0		43.0	町道与那原2号線 町道与那原20号線
	カラー舗装整備	与那原町	距離 80m	1.0			1.0	町道森下2号線等
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						-	-	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
情報化基盤施設								
合計	-	-	-	48.0	4.0	0.0	44.0	

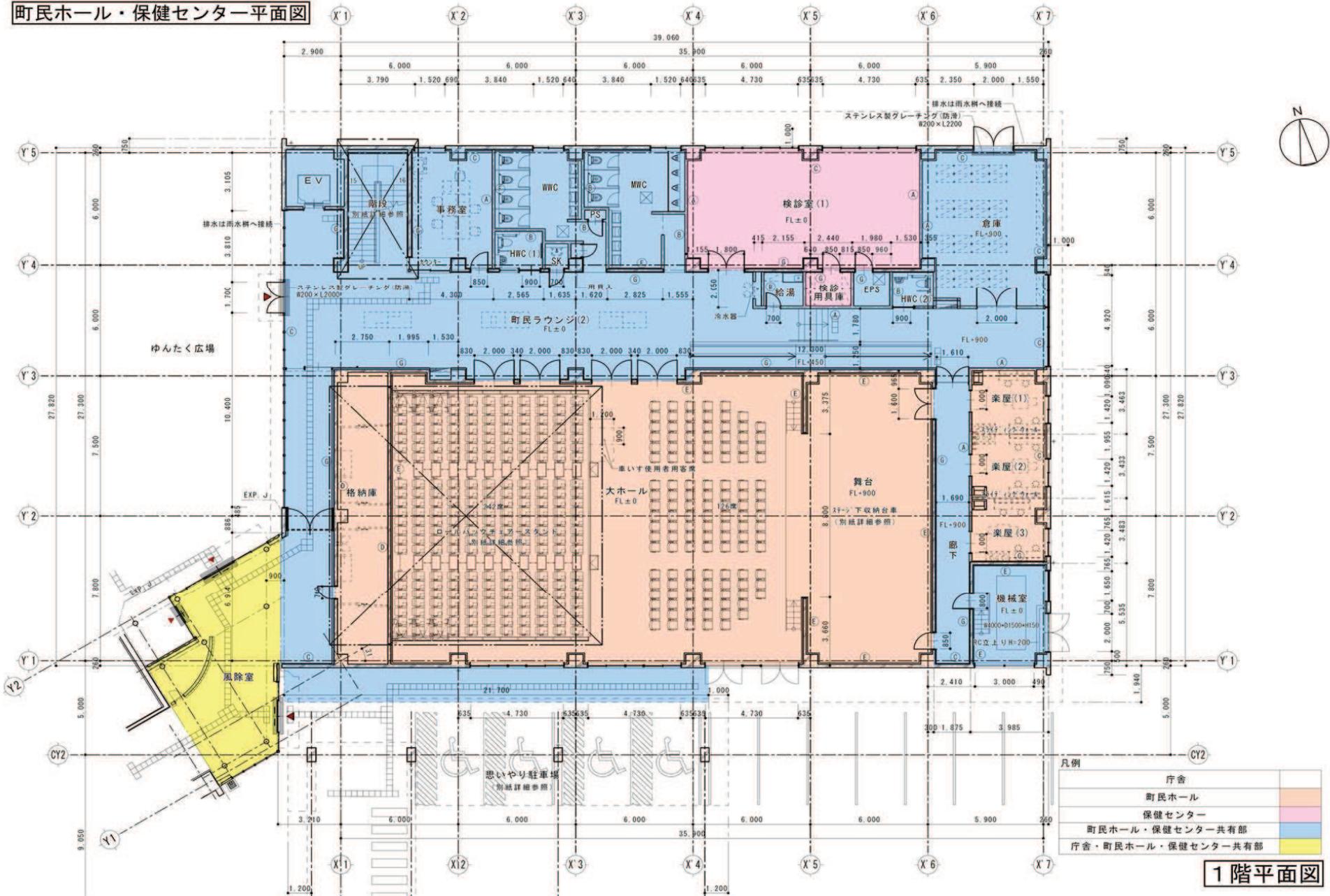
# 高質空間形成施設:石畳舗装整備、カラー舗装整備



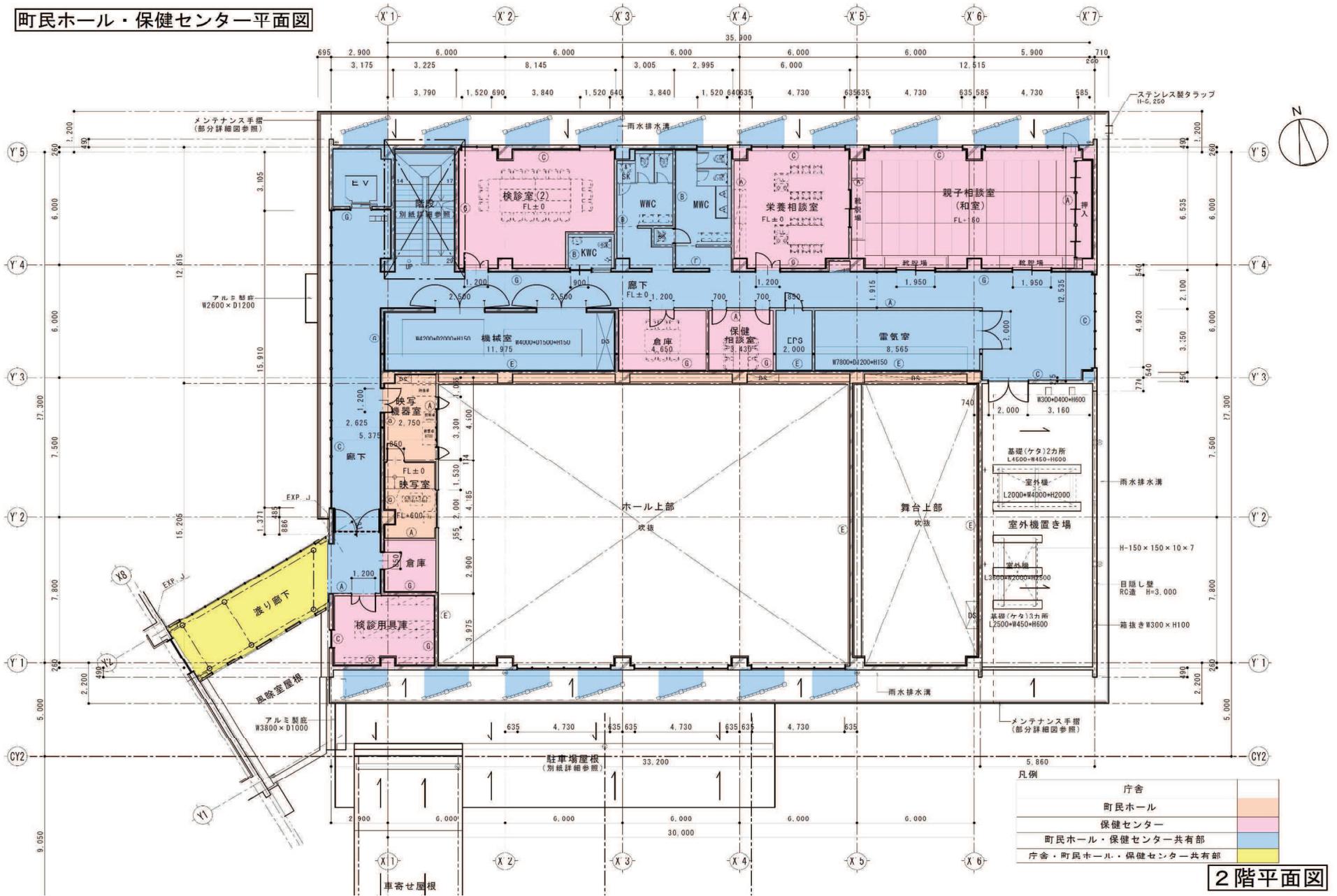




町民ホール・保健センター平面図



町民ホール・保健センター平面図



2階平面図



### 面積表：凡例

階	庁舎棟	町民ホール棟	渡り廊下	駐車場	駐輪場	屋外倉庫	受水槽ポンプ室	合計
R階	25.32							25.32
4階	1,327.77							1,327.77
3階	1,369.07	58.16						1,427.23
2階	1,369.68	622.95	28.09					2,020.72
1階	1,305.52	1,130.08	57.10	147.93	70.90	40.00	6.00	2,757.53
地下1階	403.70							403.70
小計	5,801.06	1,811.19	85.19	147.93	70.90	40.00	6.00	7,962.27

階	関連事業	まち交共用部分	基幹事業	提案事業	全体共用部分	合計
R階	25.32					25.32
4階	1,327.77					1,327.77
3階	1,369.07	58.16				1,427.23
2階	1,369.68	355.09	42.17	225.69	28.09	2,020.72
1階	1,351.52	528.58	518.08	83.42	275.93	2,757.53
地下1階	403.70					403.70
小計	5,847.06	941.83	560.25	309.11	304.02	7,962.27